

# 医療過疎地域における新たな試み

太田ネフロクリニック 技術部

○山中 祐治 小嶋直幸 吉川美穂 和地智昭 二階堂剛史 酒井伸一郎

## 【 はじめに 】

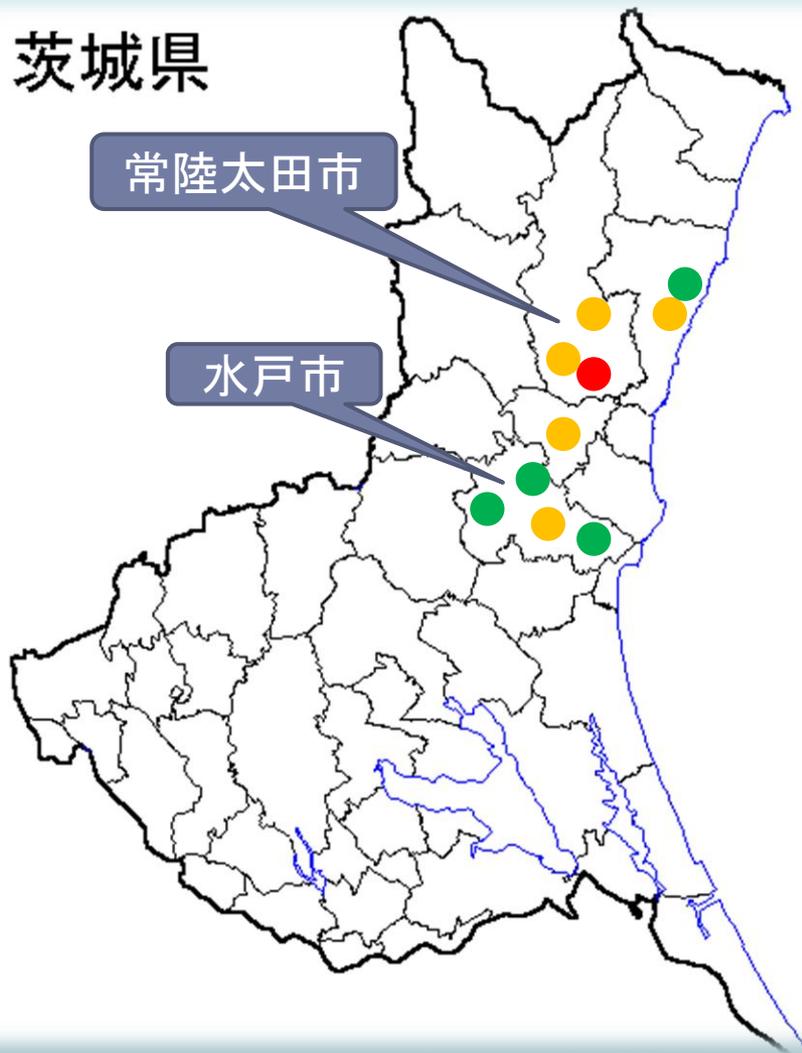
- ▶ 当院のある茨城県常陸太田市は医療機関数、医師数ともに県内、全国レベルで見ても非常に少ない地域です  
このような医療過疎地域において、当院では他施設に出向いて透析（出向透析）を行っています  
今回、出向透析を通して近隣施設との連携を築いたので紹介します



### ～ 茨城県常陸太田市の現況 ～

- ▶ 人口 56255人
- ▶ 人口増加率 -5.9%
- ▶ 高齢化率 26.6%
- ▶ 医療機関数 人口1万人当たり:4.0カ所(全国802番目/809)
- ▶ 医師数 人口1万人当たり:7.1人(全国778番目/809)

# ～ 当院と近隣施設との位置関係 ～



● 当院(太田ネフロクリニック)

● 透析設備がない専門病院  
(当院からの距離)

- ・200m 脳神経外科
- ・5km 胃腸科外科
- ・12km 脳・循環器科
- ・18km 地域中核病院
- ・24km 眼科

● 透析設備がある総合病院  
(当院からの距離)

- ・22km～35km

## 【 対象 】

- ▶ 当院の維持透析患者が透析設備のない近隣施設に入院する場合
  - \* 一刻も早い治療を行うため
  - \* 患者自身の希望
- ▶ 透析設備のない近隣施設に腎不全を合併している患者が入院した場合  
または腎不全になってしまった場合  
腎不全以外で血液浄化療法が必要になった場合

## 【 期間 】

- ◆ 平成19年10月から平成23年12月まで

## 【 方法 】

---

### ▶ HD

ニプロ社製個人用透析装置(NCU-12)  
三菱レイヨン・クリンスイ社製個人透析用RO装置  
(MRE-NFX)



### ▶ CHDF

クラレ社製血液浄化装置(KM-8700)



### ▶ DHP

ニプロ社製補液・血液ポンプ(MP-300)  
ニプロ社シリンジポンプ(SP-80S)



臨床工学技士1名と医師で対応する

---

# ～ 出向透析の実際 ～



個人用透析装置を  
自閉式カプラにて  
取り外し可能と  
している



患者送迎車を利用して  
機材を搬入する



物品は持ち運び  
出来るように  
用意している



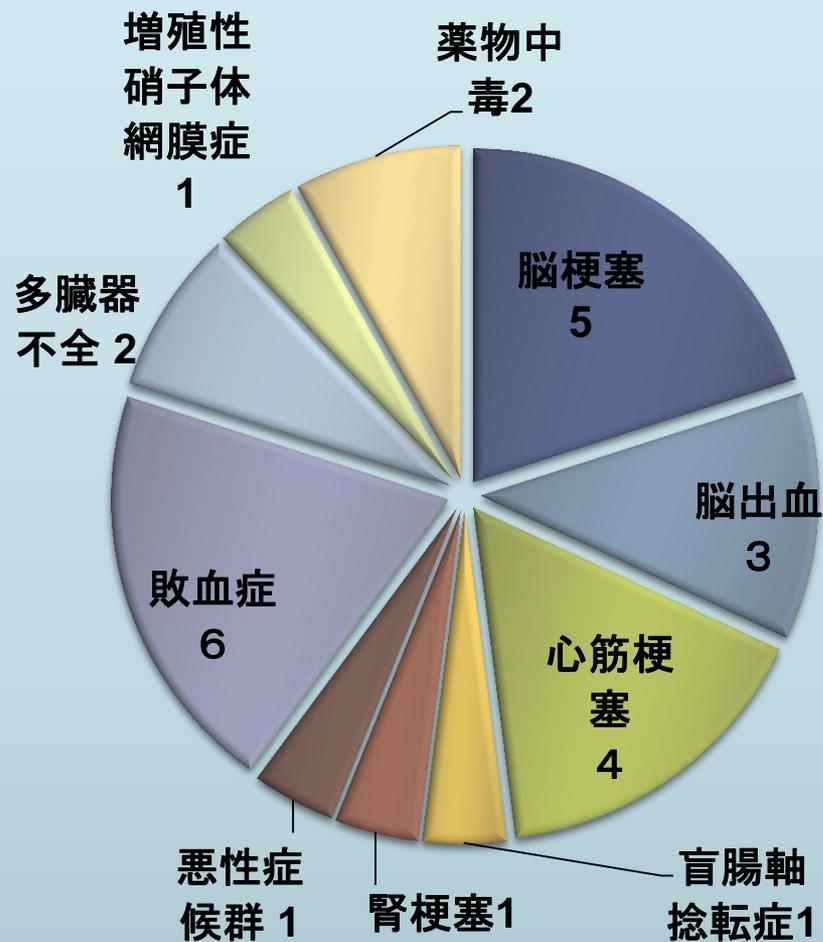
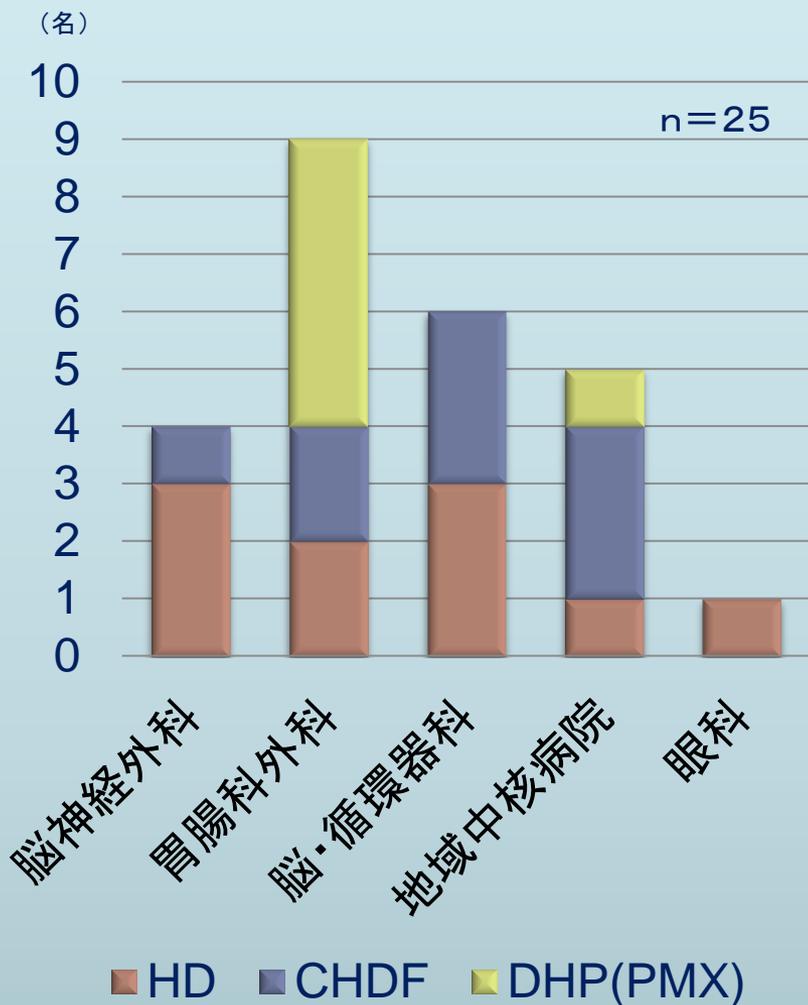
洗面台の蛇口・  
シャワーヘッド部・  
トイレの水栓部などに  
アダプターを取り付け  
RO装置に接続



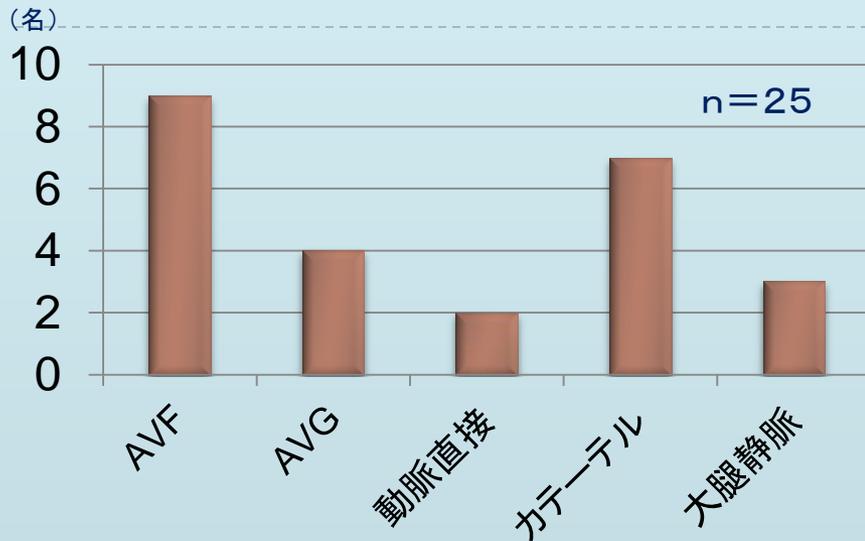
使用蛇口の形状に合わせて対応出来る  
ようアダプターを多種用意している

# 各施設の血液浄化療法

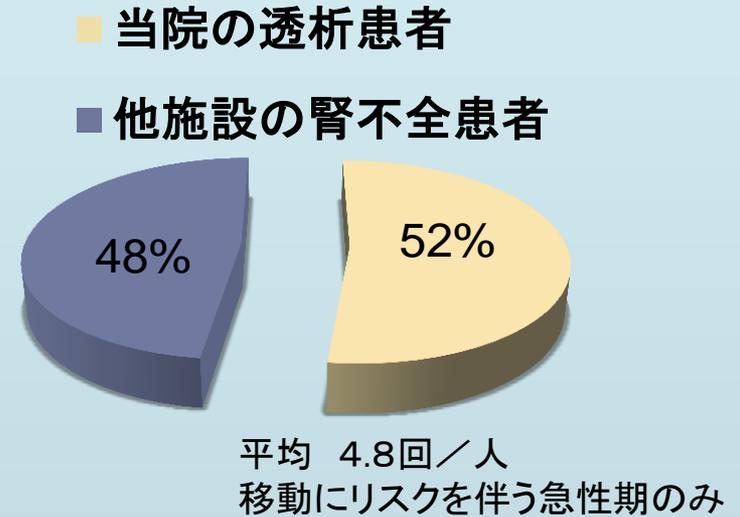
# 各疾患



# バスキュラーアクセス



# 患者割合



# 年度別出向透析件数



## 【 結果① 】

---

- ▶ 様々な合併症を有する透析患者が入院する場合、透析設備の有無が重要でしたが、腎不全に対しての治療を当院が行うことにより、近隣専門病院での入院治療が可能となった
- ▶ 緊急時における搬送時間や移動におけるリスクが問題となっていたが、周辺施設とのネットワークを構築することで迅速な対応につながり、患者の利便性を高めた

## 【 結果② 】

---

- ▶ 近隣施設においては、透析設備がない理由で透析患者の受け入れを断らなくて済むようになった
- ▶ 現在では近隣施設から血液浄化療法の依頼または腎不全患者の紹介が来るようになった
- ▶ 近隣施設スタッフとの親睦が深まった
  - \* 勉強会や懇親

## 【 おわりに 】

- ▶ 当院と周辺施設の立地条件から考え出した  
出向透析は、地域医療機関ならびに総合病院  
との関係をより一層深めることとなり、  
医療過疎地域における新しい透析医療の  
展開と考えています

